



Daiwa House[®]
Group

報道関係各位

2017年2月15日

大和ハウス工業株式会社
ロイヤルホームセンター株式会社

**「大型物販店舗におけるZEB化推進」が「省エネ大賞」で
「省エネルギーセンター会長賞」を受賞しました**

大和ハウス工業株式会社（本社：大阪市、社長：大野直竹、以下「大和ハウス工業」）とロイヤルホームセンター株式会社（本社：大阪市、社長：中山正明、以下「ロイヤルホームセンター」）は、一般財団法人 省エネルギーセンター主催の平成 28 年度「省エネ大賞（省エネ事例部門）」において、「大型物販店舗における ZEB^{※1}化推進」が評価され、「省エネルギーセンター会長賞」を受賞しました。大和ハウス工業は、2 年連続 5 回目の同賞受賞となります。

ロイヤルホームセンターは、CGO（環境担当役員）のリーダーシップのもと、2013 年 4 月より大和ハウス工業の技術を導入した ZEB 店舗の開発や普及、既存店舗の建物改修を進めています。

新築店舗の「ロイヤルホームセンター長久手」（愛知県長久手市、2015 年 2 月建て替え増床オープン）では、CO₂ 排出量を約 70%削減^{※2}。「ロイヤルホームセンター津島」（愛知県津島市、2016 年 4 月オープン）では、1 万 m²超の商業店舗で初の ZEB を実現しました。あわせて、「ロイヤルホームセンター奈良」や「ロイヤルホームセンター物集女」などの既存店舗でも省エネ改修を推し進め、ロイヤルホームセンター全店舗で 2005 年度比 CO₂ 排出量を 44.1%削減できました。これらの実績が評価され、「省エネルギーセンター会長賞」を受賞することとなりました。

※1.ネット・ゼロ・エネルギー・ビル。エネルギー消費量が正味（ネット）でゼロまたは概ねゼロとなる建築物。

※2.政府発表の平成 25 年「改正省エネルギー基準」における基準値と比較した場合。



【ロイヤルホームセンター津島】



【ロイヤルホームセンター長久手】

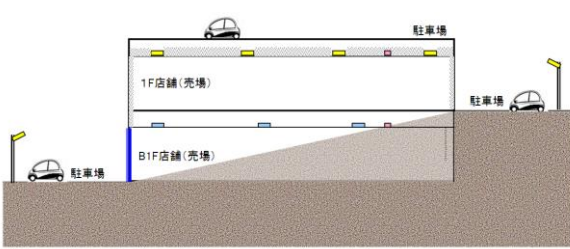
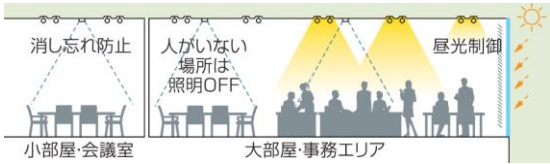
1. 新築店舗での省エネ推進

ロイヤルホームセンターと大和ハウス工業は、新築店舗において ZEB の実現を目指して、創エネ・省エネを行う「アクティブコントロール」や自然の力を活かす「パッシブコントロール」、それらを適正に制御する「エネルギーマネジメント」の積極的な導入を進めています。

(1)「ロイヤルホームセンター長久手」での取り組み

「ロイヤルホームセンター長久手」では、計画地の特性を活かして店舗一部の地下化で断熱性能を向上させ、昼光センサーや LED ライト、BEMS^{※3}などを導入・運用し、約 70%の CO₂ 排出量を削減することができました。



※3.ビルエネルギー管理システム (Building and Energy Management System)。

	
<p>「店舗一部の地下化による断熱性向上」</p>	<p>「人感・昼光センサー」</p>
<p>地中の温度は年間を通して一定であるため、傾斜のある立地を活かし、店舗の西側を地面に接するように配置し、空調によるエネルギーを削減しました。</p>	<p>事務所内に人感センサーを設置し、照明の消し忘れを防止します。また、窓から光がさす場所では昼光センサーを設置し、外光量に応じて照明の明るさを調整しました。</p>

(2)「ロイヤルホームセンター津島」での取り組み

「ロイヤルホームセンター津島」では、大規模な越屋根^{※4}による自然採光と通風で照明電力や空調エネルギーを削減しています。照度センサーや屋根に太陽光発電システム 1.2MW (メガワット) のメガソーラーを設置し、延床面積 1 万㎡超の商業施設では日本で初めて ZEB を実現しました。

※4.採光・換気・煙出しなどのため、屋根の上に、棟をまたいで一段高く設けた小屋根。

	
<p>「メガソーラーシステム」</p>	<p>「越屋根による自然採光・通風」</p>
<p>日射が遮られることの少ない屋根面に、エネルギー源が無尽蔵で騒音や排気ガスも出さない太陽光発電システムを 1.2MW 設置しました。</p>	<p>採光のための越屋根を設け、店内に自然光と通風を取り込み、昼間の照明電力や空調エネルギーを削減します。</p>

●ロイヤルホームセンターの新築店舗での取り組み

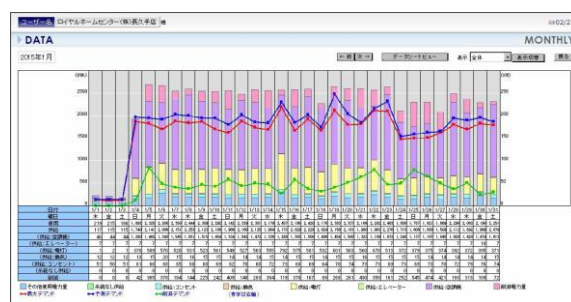
オープン時期	店舗名	導入した主な環境配慮設備
2013年10月	「ロイヤルホームセンター千葉みなと」	高天井用高出力 LED 照明、高効率空調機、光ダクト、高拡散反射材利用トップライト、BEMS など
2015年2月	「ロイヤルホームセンター長久手」	高出力 LED 照明のセンサー制御、高効率空調機、斜面を利用した土中壁による断熱向上、太陽光発電、高拡散反射内装材、BEMS など
2016年4月	「ロイヤルホームセンター津島」	越屋根式トップライト、高出力 LED 照明のセンサー制御、高効率空調機、CO2 制御式全熱交換機、光ダクト、採光窓フィルム、低放射材天井による輻射熱低減、太陽光発電(メガソーラー)、BEMS など
2016年5月	「ロイヤルホームセンター南千住」	高出力 LED 照明のセンサー制御、高効率空調機、気化式冷却外調機、光ダクト、採光窓フィルム、太陽光発電、BEMS など

2. 既存店舗での省エネ改修

ロイヤルホームセンターでは、既存店舗の省エネ性能を向上させるため、店舗において、蛍光灯を LED(26 店舗・約 3 万本)に入れ替えるとともに、照明器具の個別制御などを導入しました。また、高効率空調機(室外機 300 台・室内機 617 台) や BEMS(13 店舗)、空調制御などを設置した結果、2015 年度にはロイヤルホームセンター全店舗で CO₂ 排出量を 44.1%削減(2005 年度比) できました。

3. データ集計・分析による運用改善

ロイヤルホームセンターでは、BEMS を導入した店舗で計測された情報を本社でモニタリングし、他店舗との比較や分析を行っています。そして、その情報に基づき、3 か月ごとに開催する「環境推進委員会」で情報共有し、全店舗での省エネ活動を促しています。



【BEMS】

4. ZEB の普及展開

大和ハウス工業では、「先端技術でエネルギーをカシコク使う」をコンセプトに次世代環境配慮型建築の開発に取り組んでいます。自社グループ施設での実証実験を踏まえ、多様な用途の建物で環境配慮技術を導入した「D's SMART」シリーズを発売・展開し、ZEB の普及を推進します。


■大和ハウス工業の「省エネ大賞」受賞歴について

2010年2月	組織部門 資源エネルギー庁長官賞 https://www.daiwahouse.co.jp/release/20100201105300.html
2013年2月	省エネ事例部門 経済産業大臣賞 (CGO・企業等分野) 受賞 http://www.daiwahouse.co.jp/release/20130125162703.html
2014年2月	省エネ事例部門 経済産業大臣賞 (CGO・企業等分野) 受賞 http://www.daiwahouse.co.jp/release/20140122101352.html
2016年2月	製品・ビジネスモデル部門 省エネルギーセンター会長賞受賞 http://www.daiwahouse.co.jp/release/20160127111212.html
2017年2月 (今回)	省エネ事例部門 省エネルギーセンター会長賞受賞

<省エネ大賞>

本表彰は、一般財団法人省エネルギーセンターが実施（後援：経済産業省）しているもので、国内の産業・業務・運輸部門に属する企業、工場、事業場等の省エネルギーを推進している事業者及び省エネルギー性に優れた製品を開発した事業者の活動を表彰することにより、省エネルギー意識の浸透、省エネルギー製品の普及促進、省エネルギー産業の発展及び省エネルギー型社会の構築に寄与することを目的としたものです。

【 未来を、つなごう We Build ECO 】



私たちは、“未来を見据えた自主的な環境行動によって、常に社会をリードし、現在と未来をつないでいきたい”との思いのもと、すべての企業活動を通じて、地球温暖化防止や資源循環などの環境活動に取り組んでまいります。



【受賞式のようす】

以 上

お問い合わせ先		
広報企画室	広報グループ	06-6342-1381
	東京広報グループ	03-5214-2112